

登録コード	L2420200	開講年度	2026	
担当教員	SPREADBURY ASH LEIGH			副担当
授業科目	英語学概論Ⅱ			
英文授業名	Introduction to English Linguistics II			
授業タイトル				
単位数	2	対象学生		講義期間 後期 曜日・時限 水曜・3時限
講義室	人文第1講義室	遠隔授業科目		読替科目 読替科目は履修案内を確認すること
信大コンピテンシー	非該当			
授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素			【授業の達成目標】
	2022Lカリ, 2021Lカリ, 2020Lカリ			
	【2022年度以前カリキュラム対象】自明とされる事柄に対し、深くその根拠を問い直し新たな認識を構築できる思索力			英語という言語の特徴、および英語によるコミュニケーションの仕組みを学問的に考察できるようになる
	【2022年度以前カリキュラム対象】情報を適切に集約・分析・表現できる高度なメディアリテラシー			先行研究を批判的に考察した上でまとめることができるようになる
	【2022年度以前カリキュラム対象】領域横断的な事柄に対する問題解決能力および創造的な企画構想能力			ヒトの社会や認知のあり方を考慮した上で言語現象を分析できるようになる
	2026Lカリ, 2025Lカリ, 2024Lカリ, 2023Lカリ			
授業で学べる「テーマ」	多文化協働			
全学横断特別教育プログラム				
授業の概要	多くの学生は小さい頃から英語を「語学学習」の対象としてみなしているだろう。本科目では、英語学の諸分野を概観することで、英語を「学問」の対象として見ることに慣れていただく。具体的には、①英語の言語としての特徴、②我々の頭の中の言語知識とその習得、③英語と社会との関わり、④英語を用いた対人コミュニケーションの仕組みを順番に確認していく。			
授業計画	第1回 オリエンテーション：英語学とは？ 第2回 英語の特徴①：音声（音声学と音韻論） 第3回 英語の特徴②：単語の構造（形態論） 第4回 英語の特徴③：文法（統語論） 第5回 英語の特徴④：ことばの意味（意味論） 第6回 英語の特徴⑤：情報構造 第7回 英語の知識①：言語知識の習得 第8回 英語と社会との関わり①：地域変種 第9回 英語と社会との関わり②：社会階層 第10回 英語と社会との関わり③：民族 第11回 英語と社会との関わり④：世界の英語 第12回 英語と対人コミュニケーション①：ポライトネス 第13回 英語と対人コミュニケーション②：含意 第14回 英語と対人コミュニケーション③：コンテクスト化の合図 第15回 学期末のまとめ、授業アンケート			
成績評価の方法	成績は以下の3項目で評価される： 1. 平常点（授業参加、コメントシート）：40% 2. 中間レポート：30% 3. 期末レポート：30%			
成績評価の基準	「やや上にある」： 授業内で示されたテーマ・言語現象について不足なく理解している 「かなり上にある」： 授業内で示されたテーマ・言語現象について不足なく理解し、自ら関連する問題を発見することができる 「卓越している」： 授業内で示されたテーマ・言語現象について不足なく理解し、自ら関連する問題を発見した上で、授業内で提示された知識を応用することができる			
事前事後学習の内容	事前学習として次に扱う章を予習する。事後学習として授業で学んだ内容を整理し、レポートにつなげるように関連する問題を考える。			
履修上の注意				
質問、相談への対応	メール（spreadbury[アットマーク]shinshu-u.ac.jp）にて質問・相談を受け付けます。			
教科書	井上逸兵（2015）『グローバルコミュニケーションのための英語学概論』慶應義塾大学出版会			
参考書	なし			